



4.2.16 Altitude³² and Altitude¹⁶ Release Notes

Introduction

Trinnov Audioは、Altitude³²およびAltitude¹⁶プロセッサ用ソフトウェアアップグレードをリリースいたします。

ソフトウェア・バージョン4.2.16では、世界トップクラスのオーディオ・ビデオ・プリアンプに複数の機能とパフォーマンスのアップグレードが追加されました。Altitudeの両モデルをお持ちの方は、Trinnov独自のソフトウェア・プラットフォームから、ソフトウェアをダウンロードすることで簡単にユニットをアップグレードすることができます。Altitudeの年式に関係なく、無償でインストールいただけます。

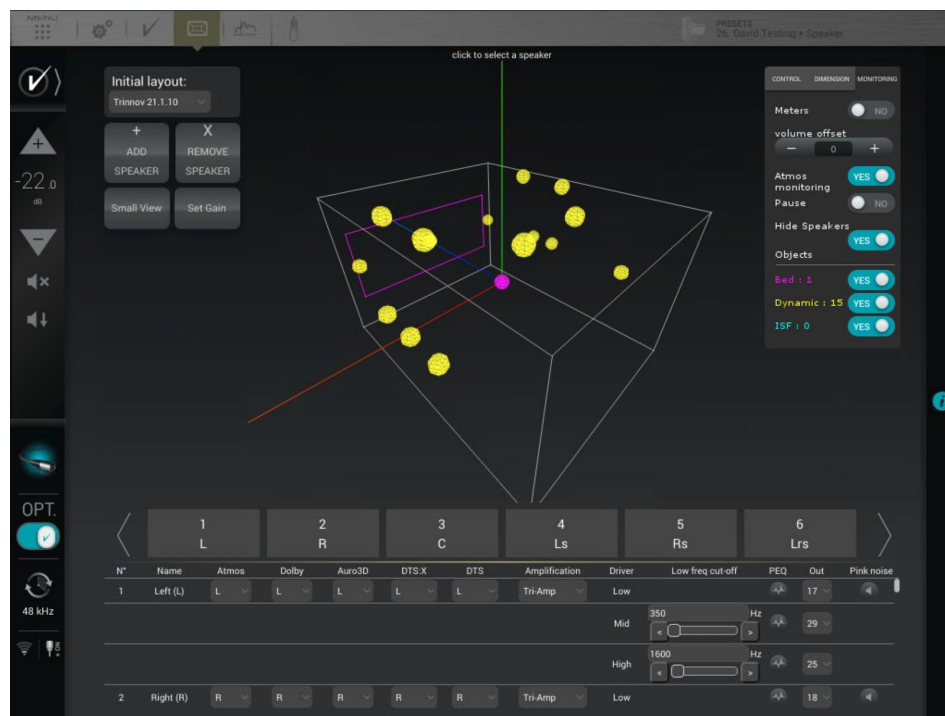
一部の機能はAltitude³²のみ、もしくはAltitude¹⁶のみで利用可能です。



New Features

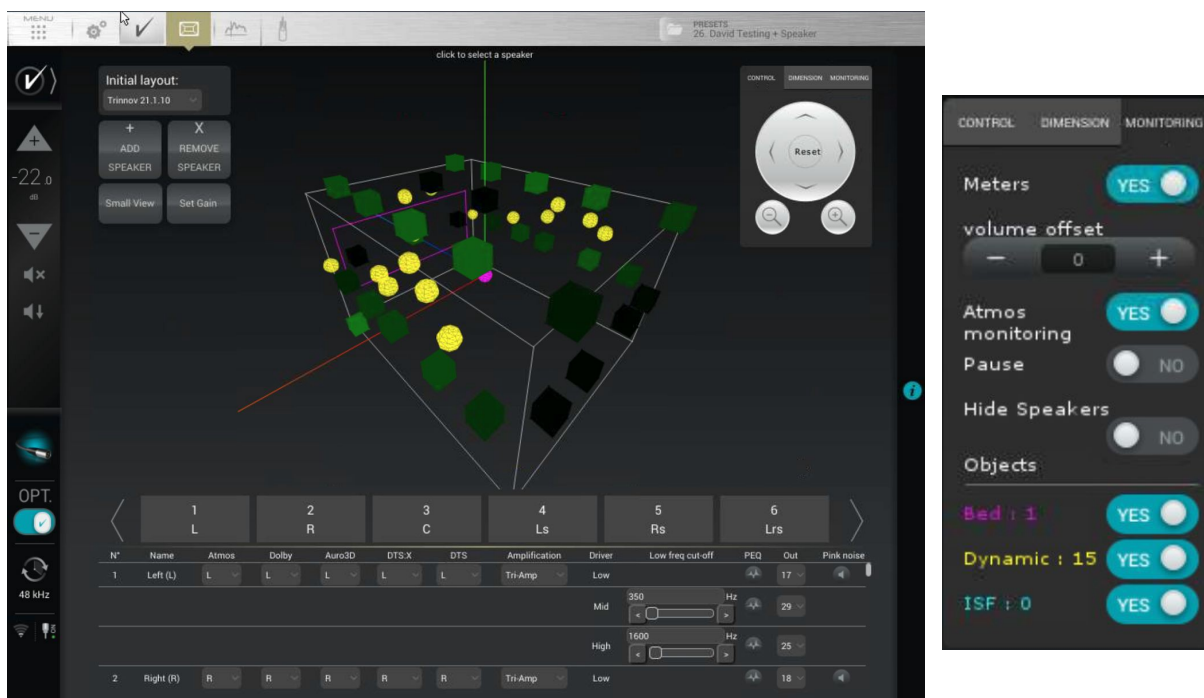
Dolby Atmos Object Viewer (Altitude³² & Altitude¹⁶)

- Atmosオブジェクトの位置をリアルタイムに表示する機能
- オブジェクトの位置が、Altitudeの3Dルームに表示



- 多彩な表示オプション:
 - Atmos オブジェクト表示
 - スピーカーの表示 / 非表示
 - 表示するオブジェクトの選択
 - 各スピーカーの音量レベルの表示 (次章参照)
- 重要事項:
 - 情報の正確性を保証するものではありません。
 - この機能は、Xbox Oneでは正しく動作しないことがあります。

Output per speaker in the 3D view (Volume Monitoring)



- オブジェクトの位置に加え、3Dビューでのボリュームモニターを追加
- 各スピーカーの音量は、スピーカー自身に表示されます。
- 黒いスピーカーは無音で、音量が上がるにつれ濃い緑から明るい緑に変化。クリップすると赤で表示。
- デフォルトでは、実際の実出力音量を表示していますが、リスニングレベルの影響を受けます。表示音量オフセットオプションを追加し、小音量でリスニングしているときでも各スピーカーの相対音量を監視できるようにしました。これは音質に影響を与えるものではありません。

New HDMI Board (manufactured by CYP) Support

5月初旬に、トリノフはサイプレス・テクノロジー社 (CYP)との提携を発表し、HDMI2.1の準備を始めました。Trinnov AudioとCYPの最初のコラボレーションは、新しいHDMI 2.0ボードの開発であり、これは現在、新しいAltitude¹⁶とAltitude³²に搭載されています。

ソフトウェアバージョン4.2.16は、この新しいHDMIボードに対応するファームウェアを含んでいます。

このボードの仕様と詳細は次の通りです:

- 8x in & 2x out
- Full HDMI 2.0 18 Gbps & HDCP 2.2
- Dolby Vision対応
- HDR HLG 対応
- HDR 10+ 対応

- 切替時間の短縮
- 出力1にはダウンスケール機能を搭載：
 - デフォルトでは、両方の出力がミラーリングされる
 - 出力1に接続されたディスプレイが4Kに対応していない場合、内蔵のダウンスケーラーが映像信号を自動的にHDIに変換

ファームウェアの特徴:

- 本ファームウェアは、HDMI 1.4とHDMI 2.0形式の入力を切り替える機能を維持
- このファームウェアを使用時、ソースから取得可能な情報は、以下の通りです：
 - ビデオ解像度
 - ビデオ リフレッシュレート
 - ビデオビット深度
 - ビデオカラーサンプリング
- 現在は含まれていないが、今後のアップデートで利用可能になる予定の機能：
 - フルマトリックス機能(任意の入力を任意の出力にルート)
 - OSD (音量調整用)
 - EDIDディスプレイの管理・監視
 - 包括的なEDID管理ツール
 - ケーブルテスター内蔵
- このHDMIボードでは、ビデオ信号に関するより高度な情報を取得することはできません。

ARC & eARC (CYP HDMI board only)

- 出力番号1のARC&eARCは、音声再生のみ対応
- アドバンスドCEC機能(リモコンによる電源オン/オフ、ボリュームコントロール)には対応していません。

Impulse Generator

Processor / Input ページに、-10dBFSレベルでピンクパルス信号を出力できる「Pulse」ボタンが追加されました。

このテスト信号は、カスタムタイムアライメントを実行するためのキャリブレーションに使用します。

Factory PEQ

- スピーカーメーカーからファクトリーPEQのインポートが可能
- PEQ パラメーターは表示も編集も不可
- Google フォームで要望を送信可能

Enhancements

Trinnov Narrowフォーマットで追加されたDTSスピーカー

- Trinnov narrow テンプレートを使用した場合、DTSチャンネルは自動的に適切なスピーカーに正しくマッピングされます。

PEQ enhancements

- PEQを搭載したスピーカーが青くハイライトされます。
- PEQリストがアルファベット順になりました。

ISO Frequencies used for the Graphic EQ faders

- グラフィック・イコライザーフェーダーの周波数スケールを変更
- ISOに再び準拠し、なおかつ10HzまでのEQ編集が可能

Logging system

- 定期的に電源を切らない場合のシステムログの改善
- 大容量のログファイルを自動的に縮小し、システムの不安定化を防止

Bug fixes

Various bug fixes with DTS: X

Active Cross-OversフィルターをNoneに設定した場合の不具合を修正

- 以前の不具合:一部の計算で表示される周波数がそのまま使用され、不正確なレベルアライメントが発生することがありました。

Clipping signal in PCM

- Linn、dCS、Pioneer製の一部の機器でバランスアナログ入力を使用した場合の不具合を修正(特定の電氣的出力レベルを提供)しました。

User EQs were not saved properly

- プリセット選択後、ユーザーEQが正しくリロードされないことがありました。

Altitude¹⁶ front lighting management fixed on Altitude¹⁶

- 画面が必要な状態に戻らないことがありました。